

佐潟再生事業について

【概要】

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、富栄養化している佐潟の水質改善を図るため、さまざまな方法を実施しながら、人の手を加え佐潟の再生を目指す。

【水門ドロばきを活用したドロの排出試験】

1 予備調査

ドロの排出試験に先立ち、ドロばきの開閉による排出状況を確認する。

- (1) 実施予定日：4月上旬
- (2) 調査内容：ドロばきの開閉前後でドロの排出状況を調べる
- (3) 測定方法
 - ①ドロばき開門前に水門潟側の泥の堆積状況について、新潟水辺の会所有の測定装置を使用して計測
 - ②ドロばきを開門
 - ③開門後一定時間の経過した頃に、再び測定装置で計測し、開門前と比較
 - ④計測後に潟側の水門前付近で、じょれん等を用いて攪拌
 - ⑤さらに一定時間が経過した後に再度測定装置で計測し、攪拌前と比較
 - ⑥ドロばきを閉門：終了

2 ドロの排出状況調査

予備調査を踏まえ、新潟水辺の会と協働でポンプを用いたドロの排出状況を調査する。

- (1) 実施予定日：4月中旬
- (2) 調査内容：ポンプの水圧を利用したドロの排出作業を実施し、ドロばきの効果とあわせて排出状況を調べる。
- (3) 調査範囲：佐潟橋周辺付近から水門まで
- (4) 測定方法
 - ①ドロばき開門前に水門潟側で調査を行う箇所の泥の堆積状況について、測定装置を使用して計測
 - ②ドロばきを開門
 - ③ポンプを使用し、ドロを水門側に圧送する。
 - ④ポンプを使用後、一定時間が経過してから測定装置で計測し、作業前と比較
 - ⑤ドロばきを閉門：終了
- (5) その他
 - 土地改良区等関係団体には事前に説明などを行い、協力を要請する。
 - 衛生環境研究所に協力を依頼し、水質測定を実施する。(予定)